

# 第 56 回（令和 2 年度）定期総会

令和 2 年 3 月 18 日

日 本 養 豚 学 会

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 会 長 挨 拶

### 3. 議事録署名人の選出

### 4. 議 案

第 1 号議案 令和元年度事業報告(案)および収支決算報告(案)について

第 2 号議案 令和 2 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) について

第 3 号議案 功労会員の承認について

第 4 号議案 次期役員案について (別紙)

その他

### 5. 閉 会

## 令和元年度事業報告（案）

自 平成31年2月22日  
至 令和2年2月29日

### 1. 学会大会の開催

#### (1) 第110回日本養豚学会大会

開催日：平成31年3月12日（火）、13日（水）

会 場：麻布大学（生命・環境科学部棟）

大会委員長：麻布大学教授 坂田 亮一 氏

大会参加者：約130名

#### (2) 第111回日本養豚学会大会

開催日：令和元年10月24日（木）、25日（金）

会 場：新白信ビル（3階イベントホール）

大会委員長：家畜改良センター理事長 入江 正和 氏

大会参加者：約90名

### 2. 学会誌の発行

#### (1) 日本養豚学会誌第56巻第1、2、3、4号を印刷発行した。

原著7編、短報1編、技術ノート2編、資料1編、国際会議報告1編  
講演要旨再録35編、特別講演1編、緊急教育講演（ランチョンセミナー）1編、シンポジウム4編

総ページ数 194 ページ

### 3. 平成31年度日本養豚学会賞の贈呈

平成31年3月12日（木）、第49回（平成31年度）日本養豚学会賞丹羽賞（学術賞）を松本光史氏（農研機構畜産研究部門）に、第13回養豚功労賞を大貫勝彦氏（(株)フロンティア・インターナショナル）に、第13回技術賞を前田恵助氏（和歌山県畜産試験場）に、第13回奨励賞を橋本果林氏（石川県農林総合研究センター畜産試験場）に贈呈した。

4. 第 55 回（平成 31 年度）定期総会  
開催日：平成 31 年 3 月 12 日（火）  
会 場：麻布大学 生命・環境科学部棟
  
5. 中国養猪学会との学術交流  
(1) 青島での大会参加（派遣 3 名）
  
6. 理事会  
(1) 第 1 回理事会  
開催日：平成 31 年 3 月 12 日（火）  
会 場：麻布大学 生命・環境科学部棟  
(2) 第 2 回理事会  
開催日：令和元年 10 月 24 日（木）  
会 場：新白信ビル（2 階会議室）
  
7. 常務会  
本年度においては、常務会を下記の通り開催した。  
(1) 第 1 回常務会  
開催日：平成 31 年 3 月 2 日（土）  
会 場：ユニコムプラザさがみはら  
(3) 第 2 回常務会  
開催日：令和元年 6 月 8 日（土）  
会 場：ユニコムプラザさがみはら  
(4) 第 3 回常務会  
開催日：令和元年 9 月 14 日（土）  
会 場：ユニコムプラザさがみはら  
(4) 第 4 回常務会  
開催日：令和元年 12 月 7 日（土）  
会 場：海老名市文化会館
  
9. 令和 2 年度学会賞授賞候補者選考委員会  
開催日：令和 2 年 1 月 25 日（土）  
会 場：ユニコムプラザさがみはら

(委員長 田島 清、他委員 4名)

令和2年度学会賞授賞候補者を下記のように決定した。

第50回丹羽賞(学術賞)：山田 未知 氏(酪農学園大学)

第14回養豚功労賞：今枝 紀明 氏(今枝アニマルクリニック)

第14回技術賞：山口 昇一郎 氏(福岡県農林総合試験場畜産部)

第14回奨励賞：鈴木 雅大 氏(愛知県畜産総合センター)

10. 次期役員推薦委員会

開催日：令和2年1月25日(土)

会 場：ユニコムプラザさがみはら

(委員長 美川 智、他委員 4名)

次期役員候補案を作成した。(第4号議案)

11. 編集委員会

(1) 第1回編集委員会

開催日：平成31年3月13日(水)

会 場：麻布大学 生命・環境科学部棟

(2) 第2回編集委員会

開催日：令和元年10月25日(金)

会 場：新白信ビル(2階会議室)

12. 若手優秀発表賞の授与 (3名)

(1) 第110回大会 岡 希 氏 (宮城県畜産試験場)

(2) 第111回大会 月足 拓己 氏 (宮崎大学農学部学生)

阿野 泰久 氏 (東京大学大学院・キリンホールディングス)

13. 養豚用語事典発行および祝賀会

発行日：平成31年3月5日

開催日：平成31年6月8日(土)

会 場：小田急ホテルセンチュリー相模大野 8階小宴会場

14. 監 査

令和2年3月7日(土)、大貫 勝彦、押田 敏雄両監事により、令和元年度の事業・会計監査が行われた。

15. 令和2年2月29日現在の会員数は下記の通り。

名誉会員	9名(国外4名を含む)
正 会 員	347名(別表1)
学 生 会 員	7名(別表1)
賛 助 会 員	41 団体(別表2)

別表 1

**会員数一覧表**

(令和2年 2月29日現在)

県名	会員数 (名)		県名	会員数 (名)	
	正会員	学生会員		正会員	学生会員
北海道	11		京 都	2	
青 森	5		大 阪	3	
岩 手	9		兵 庫	2	
宮 城	13		奈 良	1	
秋 田	1		和歌山	2	
山 形	11		鳥 取	2	
福 島	8		島 根	0	
茨 城	41		岡 山	1	
栃 木	6		広 島	4	
群 馬	14		山 口	1	
埼 玉	10		徳 島	3	
千 葉	25		香 川	2	
東 京	34		愛 媛	0	
神奈川	40	4	高 知	0	
新 潟	9		福 岡	2	
富 山	8		佐 賀	4	
石 川	2		長 崎	2	
福 井	0		熊 本	5	1
山 梨	1		大 分	3	
長 野	3		宮 崎	13	2
			鹿児島	7	
岐 阜	7		沖 縄	5	
静 岡	11				
愛 知	11		台 湾	0	
三 重	3		合 計	347	7
滋 賀	0		総合計	354	

## 別表 2

### 令和元年度賛助会員

- 1 全農飼料畜産中央研究所
- 2 日本農産工業（株）畜産技術センター
- 3 全国畜産農業協同組合連合会
- 4 （一社）日本科学飼料協会
- 5 富士平工業（株）
- 6 あすかアニマルヘルス（株）
- 7 （公社）日本食肉格付協会
- 8 ゴエティス・ジャパン（株）
- 9 エランコジャパン（株）
- 10 （株）近代出版
- 11 （一財）日本生物科学研究所
- 12 創文印刷工業（株）
- 13 （有）瀬戸広告社
- 14 （一社）家畜改良事業団
- 15 （一社）日本養豚協会
- 16 フィードワン（株）研究所畜産研究室
- 17 静岡県経済農協連畜産課
- 18 豊橋飼料（株）テクニカルセンター
- 19 中部飼料（株）加茂牧場
- 20 日清丸紅飼料（株）畜産研究所
- 21 （株）鹿児島渡邊パークシャー牧場
- 22 両毛物産（株）
- 23 伊藤忠飼料（株）
- 24 グローバルピッグファーム（株）
- 25 （一社）日本SPF豚協会
- 26 共立製薬（株）
- 27 （株）日本畜産振興会
- 28 （有）メンデルジャパン
- 29 （株）モリプラント
- 30 （株）シムコ技術部
- 31 ベーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン（株）
- 32 ライブストックマーケティング部
- 32 （株）ピィアイシー・バイオ
- 33 エス・エム・シー（株）
- 34 岩田工業（株）
- 35 （株）リセルパー
- 36 ロンザジャパン（株）
- 37 （公財）日本食肉生産技術開発センター
- 38 万田発酵（株）研究開発部
- 39 （株）中嶋製作所
- 40 （株）ワイピーテック
- 41 リケンベッツファーマ（株）

(41団体)



## 日本養豚学会令和元年度収支決算(案)

自 平成31年2月22日  
至 令和 2年2月29日

### 収入の部

科	目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
		円	円	円	
会 員 会 費		2,052,000	1,791,000	▲261,000	6000×293名、3000×8名、5000×1名、4000×1名
過 年 度 会 員 会 費		420,000	267,000	▲153,000	6000×44名、3000×1名
賛 助 会 員 会 費		980,000	1,000,000	△20,000	40団体
広 告 料		500,000	517,536	△17,536	会誌、講演要旨
雑 収 入		550,000	696,561	△146,561	購読会費、講演要旨等
寄 附 金		0	82,442	△82,442	第111回大会事務局、他
当期(R元)収入合計(A)		4,502,000	4,354,539	▲147,461	
前期(H30)繰越収支差額		305,854	305,854	0	
収 入 合 計 (B)		4,807,854	4,660,393	▲147,461	

### 支出の部

科	目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
		円	円	円	
会 誌 刊 行 費		1,700,000	1,538,914	△161,086	会誌56巻1、2、3、4号
通 信 運 搬 費		350,000	356,242	▲6,242	電話代、会誌送料等
大 会 開 催 費		1,250,000	1,344,784	▲94,784	大会援助費、講演要旨等
印 刷 費		160,000	162,600	▲2,600	大会ポスター、封筒等
会 部 議 費		200,000	147,984	△52,016	役員会、選考委員会等
支 部 交 付 金		50,000	50,000	0	北海道支部
事 務 費		180,000	165,428	△14,572	文房具等
人 員 件 費		600,000	584,100	△15,900	事務局
IT 関 係 費		200,000	126,234	△73,766	HP更新料、J-STAGE登載費用、
雑 費		60,000	134,700	▲74,700	慶弔費、論文審査謝礼等
予 備 費		50,000	0	△50,000	
当期(R元)支出合計(C)		4,800,000	4,610,986	△189,014	
当期(R元)収支差額(A)-(C)		▲298,000	▲256,447	△41,553	
次期(R2)繰越収支差額(B)-(C)		7,854	49,407	△41,553	

△:収入増、支出減、▲:収入減、支出増を示す

上記の通り提出します。

令和2年3月5日  
日本養豚学会会長 祐 森 誠 司

上記監査の結果正当であることを認めます。

令和2年3月7日  
監 事 大 貫 勝 彦  
監 事 押 田 敏 雄

## 令和元年度日本養豚学会賞特別積立金収支決算(案)

自 平成31年2月22日  
至 令和 2年2月29日

### 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
	円	円	円	
雑 収 入	1,000	2,681	△1,681	利息
当期(R元)収入合計(A)	1,000	2,681	△1,681	
額	6,204,189	6,204,189	0	
収 入 合 計 (B)	6,205,189	6,206,870	△1,681	

### 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
	円	円	円	
学 会 賞 費	200,000	190,926	△9,074	平成31年度学会賞・副賞※
雑 費	432	540	▲108	振込手数料他
当期(R元)支出合計(C)	200,432	191,466	△8,966	

次期(R2)繰越収支差額(B)-(C)	6,004,757	6,015,404	△10,647	
---------------------	-----------	-----------	---------	--

※平成31年度日本養豚学会賞;第49回丹羽賞、第13回養豚功労賞・技術賞・奨励賞

△:収入増、支出減を示す

▲:支出増、収入減を示す

三井住友信託銀行(定期)	5,150,000円
同 (普通)	865,404円
計	6,015,404円

上記の通り提出します。

令和2年3月5日

日本養豚学会会長

祐 森 誠 司

上記監査の結果正当であることを認めます。

令和2年3月7日

監 事

大 貫 勝 彦

監 事

押 田 敏 雄

## 令和元年度日本養豚学会国際交流基金収支決算(案)

自 平成31年2月22日

至 令和 2年2月29日

### 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
	円	円	円	
雑 収 入	5	3	▲2	利息
寄 附 金	0	160,000	△160,000	第110回大会事務局より
当期(R元)収入合計	5	160,003	△159,998	
前期(H30)繰越収支差	450,217	450,217	0	
収 入 合 計 (B)	450,222	610,220	△159,998	

### 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
	円	円	円	
旅 費 ・ 交 通 費	240,000	360,000	▲120,000	中国養豚学会助成(3名)
雑 費	30,000	339	△29,661	振込手数料
当期(R元)支出合計	270,000	360,339	▲90,339	

次期(R2)繰越収支差額	180,222	249,881	▲69,659	
--------------	---------	---------	---------	--

△:収入増、支出減を示す

▲:支出増、収入減を示す

三井住友銀行(普通) 249,881円

上記の通り提出します。

令和2年3月5日

日本養豚学会会長

祐 森 誠 司

上記監査の結果正当であることを認めます。

令和2年3月7日

監 事

大 貫 勝 彦

監 事

押 田 敏 雄

## 令和元年度日本養豚学会養豚用語事典収支決算(案)

自 平成31年2月22日  
至 令和 2年2月29日

### 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
	円	円	円	
前期(H30)関係費繰出	1,390,235	1,390,235	0	編纂費残額及び前期納付協賛金
当期(R元)納付協賛金	370,000	410,000	△40,000	
養豚用語事典売上	0	343,040	△343,040	会員37冊、非会員12冊、書店8冊
雑収入	0	58,000	△58,000	お祝い
当期(R元)収入合計(A)	1,760,235	2,201,275	△441,040	
収入合計(B)	1,760,235	2,201,275	△441,040	

### 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
	円	円	円	
出版費	1,083,456	1,044,576	△38,880	300冊分
管理費	244,620	186,300	△58,320	100冊分
雑費	0	90,000	▲90,000	養豚用語事典出版記念祝賀会
当期(R元)支出合計(C)	1,328,076	1,320,876	△7,200	
次期(R2)繰越収支差額(B)-(C)	432,159	880,399	△448,240	

▲: 前年度予算より収入減  
もしくは支出増を示す  
△: 前年度予算より収入増  
もしくは支出減を示す

上記の通り提出します。

令和2年3月5日

日本養豚学会会長

祐 森 誠 司

上記監査の結果正当であることを認めます。

令和2年3月7日

監 事

大 貫 勝 彦

監 事

押 田 敏 雄

## 令和2年度事業計画（案）

自 令和2年3月1日  
至 令和3年2月28日

1. 第112回日本養豚学会大会の開催  
開催日：令和2年3月18日（水）、19日（木）  
会 場：文部科学省研究交流センター（つくば市竹園2丁目20-5）  
大会委員長：農研機構畜産研究部門長 小迫 孝実 氏  
(COVID-19 感染予防のため、2月の段階で開催実績を記録した上で中止決定)
2. 第113回日本養豚学会大会の開催  
開催日：令和2年11月5日（木）、6日（金）  
会 場：岩手県民情報交流センター  
大会委員長： 未 定
3. 学会誌の刊行（第57巻 第1号～4号）
4. 中国養猪学会との学術交流（COVID-19の感染状況に応じて検討）
5. 表彰（日本養豚学会賞、若手優秀発表賞等）の授与
6. 会議の開催（理事会（年2回）、常務会（年4回）、編集委員会（年2回） 等）
7. 養豚用語事典の普及
8. その他の必要事業

別表 3

会員数一覧表

(令和2年 3月1日現在)

県名	会員数 (名)		県名	会員数 (名)	
	正会員	学生会員		正会員	学生会員
北海道	11		京都	2	
青森	5		大阪	3	
岩手	9		兵庫	1	
宮城	12		奈良	1	
秋田	1		和歌山	2	
山形	9		鳥取	2	
福島	7		島根	0	
茨城	40		岡山	1	
栃木	5		広島	3	
群馬	13		山口	1	
埼玉	11		徳島	3	
千葉	22		香川	2	
東京	31		愛媛	0	
神奈川	38	1	高知	0	
新潟	8		福岡	2	
富山	8		佐賀	4	
石川	2		長崎	1	
福井	0		熊本	4	
山梨	1		大分	3	
長野	2		宮崎	14	
岐阜	7		鹿児島	6	
静岡	10		沖縄	5	
愛知	10		台湾	0	
三重	3		合計	325	1
滋賀	0		総合計	326	

## 別表 4

### 令和2年度賛助会員

- 1 全農飼料畜産中央研究所
- 2 日本農産工業（株）畜産技術センター
- 3 全国畜産農業協同組合連合会
- 4 （一社）日本科学飼料協会
- 5 富士平工業（株）
- 6 あすかアニマルヘルス（株）
- 7 （公社）日本食肉格付協会
- 8 ゴエティス・ジャパン（株）
- 9 エランコジャパン（株）
- 10 （株）近代出版
- 11 （一財）日本生物科学研究所
- 12 創文印刷工業（株）
- 13 （有）瀬戸広告社
- 14 （一社）家畜改良事業団
- 15 （一社）日本養豚協会
- 16 フィードワン（株）研究所畜産研究室
- 17 静岡県経済農協連畜産課
- 18 豊橋飼料（株）テクニカルセンター
- 19 中部飼料（株）加茂牧場
- 20 日清丸紅飼料（株）畜産研究所
- 21 （株）鹿児島渡邊パークシャー牧場
- 22 両毛物産（株）
- 23 伊藤忠飼料（株）
- 24 グローバルビッグファーム（株）
- 25 （一社）日本SPF豚協会
- 26 共立製菓（株）
- 27 （株）日本畜産振興会
- 28 （有）メンデルジャパン
- 29 （株）モリブランド
- 30 （株）シムコ技術部
- 31 ベーリンガーインゲルハイムベトメディカジャパン（株）  
ライプストックマーケティング部
- 32 （株）ピアアイシィ・バイオ
- 33 エス・エム・シー（株）
- 34 岩田工業（株）
- 35 （株）リセルバー
- 36 ロンザジャパン（株）
- 37 （公財）日本食肉生産技術開発センター
- 38 万田発酵（株）研究開発部
- 39 （株）中嶋製作所
- 40 （株）ワイビーテック
- 41 リケンベッツファーマ（株）

(41団体)

## 日本養豚学会令和2年度収支予算(案)

自 令和2年3月 1日  
至 令和3年2月28日

### 収入の部

科	目	予 算 額	前 年 度 予	差 異	摘 要
		円	円	円	
会 員 会 費		1,953,000	2,052,000	▲99,000	326名(学生1名含)
過 年 度 会 員 会 費		336,000	420,000	▲84,000	56名分
賛 助 会 員 会 費		1,020,000	980,000	△40,000	1口36団体,2口2団体,3口1団体,4口2団体
広 告 料		500,000	500,000	0	会誌、講演要旨
雑 収 入		550,000	550,000	0	講演要旨等
当期(R2)収入合計(A)		4,359,000	4,502,000	▲143,000	
前期(R元)繰越収支差額		49,407	305,854	▲256,447	
収入合計(B)		4,408,407	4,807,854	▲399,447	

### 支出の部

科	目	予 算 額	前 年 度 予	差 異	摘 要
		円	円	円	
会 誌 刊 行 費		1,600,000	1,700,000	△100,000	会誌57巻1、2、3、4号
通 信 運 搬 費		350,000	350,000	0	会誌等送料、電話料金等
大 会 開 催 費		1,200,000	1,250,000	△50,000	大会援助費、講演要旨等
印 刷 費		140,000	160,000	△20,000	大会ポスター、封筒等
会 議 費		200,000	200,000	0	役員会、選考委員会等
支 部 交 付 金		50,000	50,000	0	北海道支部
事 務 費		30,000	180,000	△150,000	文房具等
人 件 費		600,000	600,000	0	事務局
IT 関 係 費		150,000	200,000	△50,000	HP更新料,J-STAGE掲載費用
雑 費		60,000	60,000	0	論文審査,英文校閲費等
予 備 費		20,000	50,000	△30,000	
当期(R2)支出合計(C)		4,400,000	4,800,000	△400,000	
当期(R2)収支差額(A)-(C)		▲41,000	▲298,000	△257,000	
次期(R3)繰越収支差額(B)-(C)		8,407	7,854	▲553	

△: 前年度予算より収入増もしくは支出減  
▲: 前年度予算より収入減もしくは支出増



## 令和2年度日本養豚学会賞特別積立金予算(案)

自 令和2年3月 1日  
至 令和3年2月28日

### 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	摘 要
	円	円	円	
雑 収 入	1,000	1,000	0	利息
当期(R2)収入合計(A)	1,000	1,000	0	
前期(R元)繰越収支差額	6,015,404	6,204,189	▲188,785	
収 入 合 計 (B)	6,016,404	6,205,189	▲188,785	

### 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	摘 要
	円	円	円	
学 会 賞 費	200,000	200,000	0	令和2年度学会賞・副賞※
雑 費	540	432	▲108	振込手数料
当期(R2)支出合計(C)	200,540	200,432	▲108	
次期(R3)繰越収支差額(B)-(C)	5,815,864	6,004,757	△188,893	

※令和2年度日本養豚学会賞；第50回丹羽賞（銀相場により変動有り）、第14回養豚功労賞・技術賞・奨励賞

▲：前年度予算より収入減  
もしくは支出増を示す  
△：前年度予算より収入増  
もしくは支出減を示す

## 令和2年度日本養豚学会国際交流基金予算(案)

自 令和2年3月 1日

至 令和3年2月28日

### 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	摘 要
	円	円	円	
雑 収 入	5	5	0	利息
当期(R2)収入合計(A)	5	5	0	
前期(R元)繰越収支差額	249,881	695,612	▲445,731	
収 入 合 計 (B)	249,886	695,617	▲445,731	

### 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	摘 要
	円	円	円	
旅 費 ・ 交 通 費	240,000	240,000	0	中国養豚学会旅費援助金(2人分)
雑 費	9,886	30,000	△20,114	振込手数料等
当期(R2)支出合計(C)	249,886	270,000	△20,114	
次期(R3)繰越収支差額(B)-(C)	0	425,617	▲425,617	

▲: 前年度予算より収入減  
 もしくは支出増を示す  
 △: 前年度予算より収入増  
 もしくは支出減を示す

## 令和2年度日本養豚学会養豚用語事典予算(案)

自 令和2年3月 1日  
至 令和3年3月28日

### 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	摘 要
	円	円	円	
前期(R元)繰越金	880,399	0	△880,399	
養豚用語事典売上	336,000	0	△336,000	60冊
収 入 合 計 (B)	1,216,399	0	△1,216,399	

### 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	摘 要
	円	円	円	
出 版 費	0	1,083,456	△1,083,456	
管 理 費	0	244,620	△244,620	
当期(R2)支出合計(C)	0	1,328,076	△1,328,076	
次期(R3)繰越収支差額(B)-(C)	1,216,399	▲1,328,076	△2,544,475	

▲：前年度予算より収入減  
もしくは支出増を示す  
△：前年度予算より収入増  
もしくは支出減を示す